

京都府立医科大学・京丹後市

「新たな見守りネットワークモデル構築のための
連携・協力に関する協定締結式」の開催について令和6年12月20日
京丹後市役所
京都府立医科大学

この度、京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学と京丹後市との間で協定を締結する運びとなりました。

つきましては、下記のとおり協定締結式を開催いたしますのでお知らせいたします。

当該協定は、相互に連携・協力し、京丹後市の高齢者等が住み慣れた地域で安心して自立的な暮らしを実現するため、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）において京都府立医科大学が取り組む社会課題の一つである「高齢者が生涯にわたって自立的に経済活動ができる包摂的な社会経済システム構築」に関し、新たな見守りネットワークモデルを構築することを目的としています。

この協定により新たな見守りネットワークモデルを構築することで、世代や分野を超えて人と人が「丸ごと」つながり、社会全体で「さりげない見守り」で支え合う「地域共生社会」の実現に向けた取り組みを進めて参りたいと考えています。

記

【日 時】

令和6年12月25日（水） 午前10時30分～

【場 所】

京丹後市役所峰山庁舎 2階 201会議室

【出席者】

京都府立医科大学大学院 医学研究科 精神機能病態学
教授 成 本 迅

京丹後市長

【プレスリリースに関するお問い合わせ先】

京丹後市役所 健康長寿福祉部 生活福祉課 藤村 TEL：0772-69-0310 E-mail: seikatsufukushi@city.kyotango.lg.jp	京都府立医科大学 企画広報課 企画広報係 堤 TEL：075-251-5804 E-mail: kouhou@koto.kpu-m.ac.jp
---	--

京丹後市×京都府立医科大学 協定締結イメージ

背景

- 高齢化の進展に伴い認知症患者や独居高齢者が増加するとともに、詐欺被害や孤独死などのリスクも増加
→ 京丹後市においても、後期高齢者は約1万人おられ、現在は5人に1人（21%）、2050年には4人に1人（26%）となることが想定される

京丹後市人口ビジョン将来推計より

京丹後市

高齢化社会に対応した
「新たな見守りネットワーク」
を構築したい

- ✓ 認知症など支援が必要な人を早期に発見できる
- ✓ 発見した情報を行政等と共有連携し適確・迅速に対応出来る
- ✓ 既存ネットワークを活用し、地域全体で、効果的・効率的な見守りが行える

京都府立医科大学の知見などを活用

見守りネットワーク
を協働構築

《連携・協力協定締結》



京都府立医科大学

「新たな見守りネットワーク」
モデルを実践・構築し
社会実装したい

- ✓ 金融機関、医療機関等、高齢者と接点のある多機関が連携し、支援が必要な人を早期に発見できる
- ✓ 医学的知見の社会実装、医学的知見による社会課題解決を図る
- ✓ 先進的モデルとして全国発信できる

京丹後市を全国の先進的モデルへ

目的

京丹後市の高齢者等が住み慣れた地域で安心して自立的な暮らしを実現すること